

東京大学の駒場キャンパスには教職員が約800人、学生は新生を中心に約7000人いる。その健康管理や、急な内科系疾患に対応するのが保健センター駒場支所。大学紛争後の1970年、センター駒場支所の薬局に、沖山智子さんは初めての薬剤師として採用され、以来1人で切り盛りしてきた。沖山さんは、同じよう

に大学の保健センター等で働く薬剤師仲間組織する「全国大学保健センター・診療所薬剤師会」に所属、また「全国保健管理研究集会」を中心に、毎年、研究発表を続けている。実は昨年3月に定年退職し、現在は再雇用制度の下で働いているが、「アクティブでポジティブな人」に変わりはない。

くるシステムなので、他の患者については「カルテで服薬歴をチェックし、患者さんを見ながら、より適切な服薬指導ができるよう心がけている」と語る。ただ、患者としては精神科が多く、沖山さんに相談にくる人も後を絶たない。

現在、年間約8000枚の処方せんを取り扱っている。1日平均にすれば20枚強というところだが、長期の休みが多いため、実際には毎日こなす量は、それを大幅に上回る。「かぜ、腹痛もストレスに関係しているの、5月や試験の近い10月頃が多い」とし、特にかぜの季節には1日80枚を超えることも珍しくないという。また、近年の傾向として「精神科や皮膚科の病気、花粉症等のアレルギー疾患が増えてきた」と語る。

こうした時代の流れを察知し、特に薬の扱いがデリケートな精神科疾患について、患者の安心・安全を目指し、自らの判断で薬歴管理システムを構築したわけだ。沖山さんは「上から指示がないので、自分で率先して状況判断し、前もってやっていないければ遅れてしまう。言われる前に考え、行動することが一番大切」と話している。

明らかにアクティブでポジティブなタイプの沖山さんだが、その原動力はというと「1人なので考えたことは自分でできるんです。折に触れ、思いつくことをやってみている」と笑う。

同時に「今まで仕事を続けてこられたのは、多くの方にお世話になったお陰だと思います。薬剤業務におけるパソコンでの在庫管理やその他のプログラム構築、研究におけるデータ処理、論文の書き方など、センターの医師、教養学部の先生方のアドバイスに大いに助けられ、業務に役立てることができました」と振り返る。

「始めたらすぐにはやめない、新しいことを毎年やろうというのが私の主義です」と言うように、強い精神力が沖山さんの持ち味。定年を過ぎても、そのチャレンジ精神には、いささかの衰えも感じられない。

自分で状況判断し、考え、行動へ

チャレンジ精神で道を拓く

私の職場

東京大学保健センター
駒場支所薬局

沖山智子さん



できる。さらに今年の夏以降は、このシステムを發展させて日付、患者名、薬品名、薬価、投与日数、用法、薬の説明（効果）など必要に応じて、一般名や注意事項も書き込める薬の情報提供システムにグレードアップさせた。希望者には情報をプリントして手渡している。電子薬歴からレセコン、その他の情報提供まで、「薬局総合システム」を1人で作り上げてしまったことになる。

精神科以外は、処方せんにカルテがついて



沖山さんは薬剤業務とプラスアルファの仕事を1人でこなす

駒場支所では福利厚生の一環として教職員、学生の診療および健康管理を受け持っているが、常設は内科と精神科。他に歯科（週に2日）、整形外科（週に1日）、皮膚科（月に1日）の診療が行われている。保険医療機関ではないため、実費による診療。とはいえ、実際には「薬代」のみに等しいという。一般の保険薬局と同じように、薬剤情報提供や薬歴管理なども実施しているが、この薬局の場合は全て“サービス”だ。

沖山さんの業務は、調剤は当然として、全般的な物品管理も行う。内服・外用・注射と全ての医薬品、消毒剤・検査薬等の各種薬品から衛生用品・材料の発注業務、および在庫管理を担当している。ちなみに、その在庫管理や会計のための薬価計算ソフトなどは、全て「沖山オリジナル」だ。コンピュータとの付き合いは、今や知る人も少なくなったMS-DOSの時代からで、当時から独学でプログラミングをしていた「筋金入り」だ。

こうした中で4年ほど前、精神科の患者を対象として、独自のシステムを開発した。薬価計算と薬歴管理が同時にでき、しかもラベル印刷により、薬価や用法などの情報提供が

情報提供システムも独学で構築

第15改正 日本薬局方製剤総則に準拠

第十二改訂

調剤指針

日本薬剤師会編

病院・薬局の実務実習テキストに！
6年制薬学教育のテキストに！
調剤現場の常備手引書に！

- 新しい医療体制における「かかりつけ薬剤師」としての役割・存在意義を明確化 —地域医療におけるリスクマネージャーとしての役割—
- 薬事法改正により、副作用等の報告や生物由来製品の管理が義務化され、医薬品の安全性確保の責務について明確化



定価 本体3,200円（税別・送料別）
B5判 約400頁（2色刷）

株式会社薬事日報社

FAX 03-3866-8408

<http://www.yakuji.co.jp/>